

令和3年4月1日現在

社会福祉法人東京栄和会
なぎさ和楽苑

特定処遇改善加算算定に基づく取組について

当苑では、特定処遇改善加算の算定にあたり、賃金の改善に加えて以下の取組を実施しております。

① 入職促進に向けた取組

- ・法人の経営理念やケアの方針、人材育成の方針、その実現のための施策や仕組みなどの明確化を図っています。
- ・法人3拠点合同で採用活動・研修などの体制を構築しています。
- ・東京都の就業促進事業を活用するなどして、他職種からの転職や主婦層、中高年齢者等、経験者や有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みを構築しています。
- ・職業体験の受入れや地域行事への参加、主催等による職業魅力度向上のための取組を実施しております。

② 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ・働きながら介護福祉士の取得を目指す者へ実務者研修の受講支援（研修受講料補助制度・奨励金制度あり）があります。
- ・研修の受講等、自らの職務関連知識や技能の開発を行い職務拡充したかどうか、について人事考課と連動し評価する仕組みがあります。
- ・新人介護職員等の早期離職防止のための新人指導担当者（チューター）制度を導入しています。
- ・人事考課制度に基づく面談など、キャリアアップに関する定期的な相談の機会を確保しています。

③ 両立支援・多様な働き方の推進

- ・2019年にくるみん認定を受け、子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度や家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実を図っています。
- ・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備を行っています。
- ・福利厚生制度の充実、産業医のサポートのもとメンタルヘルス等の職員が相談できるような体制の充実に取り組んでいます。

④腰痛を含む心身の健康管理

- ・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の習得の機会や介護ロボット、リフト等の介護機器の導入を積極的に行い腰痛対策を実施しています。
- ・全職員を対象にした職場の健康診断やストレスチェックの実施、職員のための休憩室の確保等健康管理対策を実施しています。
- ・事故やトラブルに対する対応マニュアルを整備し、責任の所在を明確化しています。

⑤生産性向上のための業務改善の取組

- ・タブレット端末等のICTの活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等を導入し、業務量の縮減を図っています。
- ・高齢者の活躍（居室やフロア等の清掃、食事の配膳・下膳など、介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化に取り組んでいます。
- ・3S活動の実践を継続し、職場環境の整備を行っています。
- ・業務手順書の作成や記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を図っています。

⑥やりがい・働きがいの醸成

- ・毎日行われるミーティングで職場内のコミュニケーションの円滑化を図り、個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を日々実施しています。
- ・地域の児童や生徒、住民との交流を定期的に行い、地域包括ケアの一員としてのモチベーションの向上に資することを目指しています。
- ・年間を通じた研修の実施により、利用者本位のケア方針や介護保険、法人の理念等を定期的に学ぶ機会を設けています。